

熊本大学デジタルアーカイブシンポジウム

民・学・官が連携した災害継承の取り組み ～平成28年熊本地震と2014年神城断層地震の現場から～

災害を継承していくために、資料を残し展示し説明をしていくことが一つの方法としてあります。アーカイブの構築は資料の収集と展示に大きく貢献しますが、その説明は語り部やガイドなどの「人」に委ねられていきます。

本シンポジウムでは、災害継承の取組みについてアーカイブの構築とガイド養成に取り組む行政と大学、現場で解説を行うガイドそれぞれの立場で災害継承の課題と工夫について議論します。

日時：2023年12月15日(金) 14:00-16:00

会場：熊本大学工学部百周年記念館/Zoomオンライン

参加費：無料（要登録）



QRコードを読み取って参加登録を行なってください。

開会・趣旨説明 14:00-14:10

竹内裕希子（熊本大学大学院先端科学研究部/デジタルアーカイブ室 室長）

第1部 話題提供 14:10-15:10

<平成28年熊本地震の継承から>

平成28年熊本地震記憶の回廊について	熊本県観光戦略部観光国際政策課	岩崎進之介
震災ミュージアムKIOKUのガイド養成	KIOKU支配人	久保堯之

<2014年神城断層地震の継承から>

公民館講座を利用したガイド養成	白馬村教育委員会	横川秀明
アーカイブサポータズの取組みと工夫	白馬村アーカイブサポータズ	富山正明

休憩 15:10-15:20

第2部 パネルディスカッション 15:10-15:55

進行：田中尚人(熊本大学大学院先端科学研究部/デジタルアーカイブ室)

パネリスト：第1部話題提供者・廣内大助(信州大学)・竹内裕希子(前掲)

閉会 15:55-16:00



主催：熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センターデジタルアーカイブ室

共催：熊本地震震災ミュージアム県・市町村連携会議

(熊本県、熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、大津町、西原村、南阿蘇村、御船町、益城町)

信州大学教育学部防災教育研究センター

お問合せ：熊本大学デジタルアーカイブ室 Email terada-lab@kumamoto-u.ac.jp